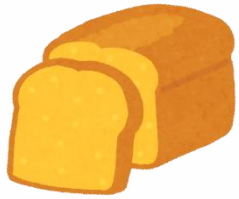
えほんいろいろ　No.170
2026 年 2 月

パン



とんだばやししりつとしょかん

プレッツェルのはじまり

エリック・カール／作
アーサー・ビナード／訳
偕成社　2013 年

むかし、ウォルターのぱんやがありました。ある ひミルクのはいっていないパンをつくり、それを たべたおうさまがおこりました。おうさまは、あさ ひがみっつみえてさいこうにおいしいぱんをつく ればゆるすといいました。ぱんはぶじできあがる でしょうか。

そらとぶパン

深見　春夫／さく・え
PHP 研究所　2001 年

パンのでんしゃにのって、こどもたちは出発(しゅっぱつ)し ました。パンはせんろからフワリとそらにのぼって いき、おおきなくものなかにはいっていきました。くものなかはパンのくに。ぜんぶがパンでで きていて、家(いえ)も人(ひと)もパンです。パンのくにで、ぼう けんのスタートです！

ねずみさんのながいパン

多田　ヒロシ／作
こぐま社　2000 年

ねずみさん、ながいパンをもってどこにいく のかな？ぞうみたいなぞうさんのうちでは、り んごとバナナをたべていました。ねずみさんは ぞうさんのおうちをとおりすぎて、とっとこと っとこ。どこにいくのかな？みえてきたのは、き りんさんのおうちです。

マフィンおばさんのぱんや

竹林　亜紀／さく
河本　祥子／え
福音館書店　1996 年

マフィンおばさんのぱんやは、まちでだいにん きのぱんやさんです。おてつだいのアノダッテと いうおとこのこが、あるよる、ひとりでぱんをつ くりました。だいすきなものをぜんぶつめこんだ ぱんだねは、かまどからあふれ、どんどん、どん どんおおきくなります。

しょうがパンぼうや

ポール・ガルドン／作
多田　裕美／訳
ほるぷ出版　1976 年

あるひ、おばあさんがしょうがパンをやきまし た。ちゃんとあしのついたパンぼうやです。とこ ろがこんがりやかれたパンぼうやは、オーブンの とがあくと、ぴょんととびあがり、はしりだしま した。だれもおいつくことができません。パンぼう やをとめることはできるのでしょうか。

パンのかけらとちいさなあくま
リトアニア民話

内田　莉莎子／再話
堀内　誠一／画
福音館書店　1992 年

ちいさなあくまは、びんぼうなきこりからパ ンのかけらをぬすみ、おおきなあくまたちに「お わびのしるしにきこりのためにはたらいてこ い！なにかやくにたつことをやってこい！」と おこられました。ちいさなあくまときこりはいっ しょにはたらきはじめますが…。